

私たちは日本スポーツ振興センターの競技力向上事業助成とスポーツ振興くじ助成を得て事業を行っています

作成日：2025 年 5 月 21 日

2025 年度 事業計画書

(自 2025 年 6 月 1 日 ～ 至 2026 年 5 月 31 日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(JBLSF)は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施する。本年度は、ミラノ・コルティナダンペッツォオリンピックを迎える重要なシーズンとなる。オリンピックにおいて選手がその実力を発揮し結果を出すべく、加盟団体と連携を取りつつ、役員・スタッフが各事業に取り組んでいく。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

事業名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
ローラーリュージュ：ローラースケルトン体験会	長野	南長野運動公園	2025/10	150
アスリート教室		長野市内小学校	2025/6	50
ジュニアプッシュ・ライド体験会		スパイラル	2025/8	30
プラスチックそり芝上大会(夏季)	宮城	太陽の村	2025/10	50
プラスチックそり雪上大会(冬季)		宮城県蔵王自然の家	2026/2	100
プラスチックそり雪上大会(冬季)		みやぎ蔵王えぼしリゾートスキー場	2026/2	100
プラスチックそり雪上大会(冬季)		泉ヶ岳スキー場	2026/3	50
スケルトン体験教室	北海道	藤野競技場	2026/1-2	100
第 23 回堂垣内杯北海道スケルトン選手権大会		藤野競技場	2026/2	30
第 64 回札幌市民スポーツ大会		藤野競技場	2026/2	50

スケルトン競技				
さっぽろスノースポーツパーク 2026		大和ハウス プレミストドーム	2026/2	200
リージュ体験教室		藤野競技場	2026/1-2	150
第2回藤原杯 第17回大阪府民 スポーツ大会 スケルトン競技		藤野競技場	2026/2/22	10

(2) 選手発掘事業

① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

2020年度に策定した、競技別発掘育成計画に基づいて対象選手を継続的に発掘し、ボブスレーとスケルトンは8年、リージュは15年の期間でオリンピックメダリストに育成する。

■ボブスレー/スケルトン(合同)

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
選手発掘テスト	宮城	2025/5/17	30
選手発掘テスト	埼玉	2025/5/24	20
選手発掘テスト	愛媛	2025/6/28	30
選手発掘テスト	大阪	2025/7	20

■ボブスレー

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
育成合宿 1	千葉 東京	2025/6	5
育成合宿 2	長野	2025/7	7
育成合宿 3	長野	2025/8	7
育成合宿 4	長野	2024/9	7
海外育成合宿 1	ヨーロッパ	2025/12	6
海外育成合宿 2	韓国	2025/3	6

■リージュ

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
育成合宿	長野	2025/9	5
巡回指導	北海道・愛媛	2025/6	5
海外育成合宿	欧州	2025/11	3
海外育成合宿	韓国	2026/2	3

■スケルトン

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
育成合宿 1	長野	2025/8	5

育成合宿 2	長野	2025/9	4
海外育成合宿	欧州	2026/2	4

(3) 国際大会・全国大会事業

事業名称	開催地	会場	開催時期	参加(人)
2025 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	8/9	30
2025 全日本プッシュボブスレー選手権大会				20

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催する。また、希望者に対して本連盟公認の審判資格取得試験を行い、取得者には審判員カードを発行し、連盟主催の大会への参加を要請する。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を行う。尚、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とする。

また、必要に応じて、WEB 活用も図り事業を行う。

事業名称	開催地	会場	開催時期	(人)
ルール講習会	大阪等	未定	2025/11 月頃	10

(1) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(2) 広報・資金調達活動事業

オリンピックイヤーとなる為、より多くの方がアクセスしやすく、わかりやすい連盟プラットフォーム(HP/Instagram)にする。エージェンシーも利用し、コンテンツに関しても充実を図る。

競技・選手の認知度を向上させるために、自治体との連携イベントを実施する。

上記実施により、既存パートナーにとって宣伝効果及びブランドイメージ向上の一助となる。また、新規パートナー獲得に繋げる。

事業名称	内容	目標
五輪報告会(予定)	五輪出場選手を囲んでの懇親会を予定 パートナー企業との連携強化を図る	連携強化
HP・SNS 強化	プラットフォームの特徴を理解したコンテンツ作成及び運用を行い新規層の認知を拡大する	閲覧者数増
新規スポンサー発掘	幅広い業種から年間500万円を目標に発掘する	2 社発掘
JOC ジョイントマーケティング	TEAM JAPAN ブランドを高める新たな取組み開始 外部資金を運用し、効率的に広報活動を実施する	外部連携

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

2026 年及び 2030 年オリンピックで世界と戦える身体能力を有した選手を対象とした強化事業を実施する。競技力向上の他、インテグリティ・コンプライアンス教育にも注力をしていく。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	埼玉	・コンバインドテストの実施 ・フィジカル中心の合宿(スプリント力強化) ・インテグリティ・コンプライアンス教育	2025/5	6
国内合宿 2	埼玉	・プッシュボブスレー中心の合宿(スキル強化) ・インテグリティ・コンプライアンス教育	2025/6	5
国内合宿 3	長野	・プッシュボブスレー中心の合宿(スキル強化) ・インテグリティ・コンプライアンス教育	2025/7	8
国内合宿 4	長野	・選手選考合宿	2025/8	8
国内合宿 5	長野	・チームトレーニング中心の合宿	2025/9	8

-2. リュージュ

2026 年オリンピックで活躍できる身体能力を有した選手の強化事業を実施する。氷上スタートトレーニング、コンバインテストを実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	長野	・コンバインテストの実施 ・フィジカルトレーニング(筋力肥大・強化)	2025/6	1
国内合宿 2	北海道	・アイスリンクを利用したスタートトレーニング ・フィジカルトレーニング(調整・指導)	2025/9	1

-3. スケルトン

JOC 委託事業で選定した選手を中心に、世界トップの身体能力と技術の獲得とスプリント能力を生かした氷上滑走技術力の向上を目指した強化事業を実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	東京	・S&C プログラムの実践 ・トレーニング計画立案	2025/5	4
国内合宿 2	東京	・S&C プログラムの実践 ・トレーニング計画立案	2025/6	4
国際競技会派遣選考会	長野	・国際大会派遣選手を決定する為のコンバインドテストの実施	2025/7	4

国内合宿3	長野	・S&C プログラムの実践 ・プッシュトレーニングの実施 ・海外遠征に向けた準備	2025/7	4
海外合宿	韓国	・S&C プログラムの実践 ・氷上プッシュトレーニングの実施	2025/7	4

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
海外コーチ招聘	欧州	・スイス連盟との連携	2025/10- 2026/3	
海外強化合宿	欧州	・氷上滑走トレーニング	2025/10	6
海外遠征	北米	・国際大会に参戦しワールドカップ出場権を獲得する	2025/11-12	6
海外遠征	北米	・国際大会に参戦しワールドカップ出場権を獲得する	2026/1	6

-2. リュージュ

アメリカチームとのパートナーシップを活用したシーズン計画の為に、アメリカチームとのミーティングを実施する。

2026 年オリンピックの参加ポイントを獲得する為に、可能な範囲でワールドカップに参加する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
コーチ派遣	レイクプラシッド	・USLA との年間計画会議 ・USLA との遠征計画会議 ・マテリアル変更打合せ ・スタート技術指導等の指導内容打合せ	2025/7	1
海外遠征	北米・欧州	・氷上滑走トレーニング ・滑走フォームとスタートタイム向上 ・国際大会参加	2025/10 -2025/12	
海外遠征	欧州	・氷上滑走トレーニング ・滑走フォームとスタートタイム向上 ・国際大会参加	2026/1 -2026/2	

-3. スケルトン

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
氷上選考会	中国・韓国	・氷上滑走選考会実施	2025/10	4
海外遠征1	中国・韓国	・氷上滑走トレーニング	2025/10	4

海外遠征 1	欧州・北米	氷上滑走トレーニング ・国際大会への派遣(オリンピック予選会含む)	2025/11-12	2
海外合宿 1	欧州・北米	・氷上滑走トレーニング ・国際大会への派遣(オリンピック予選会含む)	2025/1	4
海外合宿 2	欧州	・氷上滑走トレーニング	2025/2	4
海外コーチ招聘	欧州・北米	・メダル獲得経験のあるコーチング機会創出	2025/10- 2026/3	1

-4.3 競技合同

コースと滑走に関する科学的データを集積し、最適なコースを分析し、NF 指定選手に対して適切なアドバイスとコーチングを行う知見を得ることを目的としている。他国 NF とも連携し、高いパフォーマンスを発揮している海外の選手のデータについても収集する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	対象者
強化活動のDX化促進支援 (速度計レンタル)	国内	レーザー照射によるスピード測定器をレンタルし、スタート速度の遷移をデータ化	2025/7 -2026/3	強化合宿 参加選手

(3) 指導者養成事業

日本スポーツ協会(JSPO)のコーチ3を有した指導者の育成と、その指導者が指導現場で適切に活動できるよう、以下の事業を実施する。なお、本年度についてはJSPO コーチ3「そり競技」専門科目講習会を実施しない(次回は2027年度に実施予定)。

活動名称	目的	予定するスケジュール
JSPO コーチ3における専門科目内容の改定	長野市ボブスレー・リュージュパーク(スパイラル)の氷上滑走停止など、現在の活動状況に合わせて指導者に求められる力に沿ったカリキュラムの策定を行う	2025/06～2025/10 専門科目内容検討 2025/11～2026/02 JSPO 内審議 2026/03 専門科目確定
NF 派遣遠征等における指導者のJSPO 資格義務付けの検討	NF が派遣する海外遠征や国内合宿等における指導者について、JSPO 資格保持の有無やその適正な人数などの検討を行う	2025/06～2025/07 他 NF の情報収集 2025/07～2026/03 NF 内での義務付け検討 2026/04 取り扱い確定

PF 主催大会における JSPO 資格義務付けの検討	PF が主催する各大会や活動とともに、それらにおける JSPO 資格保持者の関りについて把握し、PF の活動における JSPO 資格の義務付けについて検討を行う	2025/06～2025/10
		PF の情報収集
		2025/10～2026/03
		PF 活動内での義務付け検討
		2026/04
		取り扱い確定

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止する。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC Vision2064 で掲げる「高い競技力と人間力を活かし、充実した人生を歩む、憧れの存在となるアスリートを育てる」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、アンチ・ドーピング教育等のスポーツ・インテグリティ教育、その研究支援などを行う。

これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれるものであり、医・科学部単独で行うものではない。

上記に基づき、以下の年間活動と事業を実施する。

① 年間活動

活動名称	目的	対象者
スポーツ・インテグリティ教育	アンチ・ドーピング教育をはじめとしたスポーツ・インテグリティに関する教育啓発活動を行う	加盟選手 スタッフ
サプリメントポリシーの運用	派遣対象選手に対して、アンチ・ドーピングを目的に、策定したサプリメントポリシーを運用し、利用管理を行う	派遣対象 選手
要望、状況に応じた 医・科学サポート	競技力向上につながるトレーニングやコンディショニングを目的に、要望と状況に応じて医師やトレーナー、管理栄養士、科学スタッフによる医・科学サポートを行う	派遣対象 選手
全日本プッシュ選手権大会 現地医療対応	大会参加者の安全、健康管理を目的に医師を現地に派遣する	大会参加 選手

② 事業

事業名称	開催地	事業目標	開催時期	人数(人)
3 競技合同会議	東京都(ハイブリッド開催)	・強化・育成戦略、中長期計画の共通認識の促進 ・目標設定とその内容、進捗の共有、確認 ・選手、連盟のコミュニケーションの促進 ・アンチ・ドーピング等をはじめとしたスポーツ・	2025/9/6- 9/7	選手 15 名 スタッフ 25 名

		インテグリティ教育の促進 ・競技力向上につながる医・科学情報の理解		
アスリートセミナー	オンライン	本連盟の派遣対象候補選手に対して、医科学サポートに関する情報や、情報リテラシー、コンプライアンスとインテグリティ教育、個別面談を行い、日本を代表して活動するに相応しいアスリートとして派遣できるよう、養成を試み、評価する。	2025/8- 2025/10 オンライン で全 5 回 実施する (個別面談を含む)	選手 10 名 スタッフ 15 名

以上